

部会で出された主なご意見と区役所の対応・考え方（令和5年度第1回）

番号	意見	当日の回答	区役所の対応・考え方	担当課
こども青少年部会				
1	人権課題は多岐にわたっているが、これらの中で満足や納得している課題と、そうでない課題は何か教えてほしい。	区政モニターアンケートの結果において、人権啓発事業は役立っていると理解されていますが、「一人ひとりの人権が尊重されているまちであるか」については目標より低い結果であり、課題別の結果については、調べたうえで、結果があればお示しさせていただきます。	同左	協働まちづくり推進課 （教育・人権啓発）
2	外国からの流入も多い中、メジャーな言語でない方とのやり取りにポケットークやアプリを使うことで、より細かい内容を伝え合うことができるが、そのようなツールを区役所としてどのように活用しているか。	中学校の幹事校長からもそうしたツールを学校で使えるように要望をいただいたところでもあり、できる範囲で対応を考えてまいります。 また、地域で暮らす外国人の方や地域の方に、使い方を覚えてもらい避難訓練に活かすなどさまざまな使い方が考えられるので、予算の兼ね合いもありますが、調査してまいります。	同左	
3	学校適正配置の関係でPTA役員等のご意見交換の報告として、 築港小、築港中は、「築港地域に残してほしい」や「通学路の問題」の意見があり、小学校では「非常に大きな車が通る中を運河を渡り通わせる不安」の声があった。 また、築港地域に生徒を集める方法として「支援学級の生徒への手厚い支援」や「中学校でインターナショナルスクール、小学校での幼稚園などの併設検討」などの意見もあった。 港中では、通学路の問題や地域との問題について意見が出された。 自分の子どもたちのいる間には実現しないことが問題であり、早く案を示してほしいこと、また今後、入学してくる子どもたちが、統合案の情報を元に選べられるようお願いしたい。	夏休み期間に予定している説明会では、保護者、未就学児の保護者を含め幅広くご意見を伺いたいと思っています。 学校適正配置の課題は、児童生徒の数だけでなく、教員不足も大きな課題であり、単学級で隣のクラスがなく先輩教員から教えて貰うOJTができず若い教員を育成できなくなっています。教員が足りず、年配の教員が再任用で頑張っている現場で働いていますが、子どもたちと一緒に走り回ることができない状況です。 学校再編に反対の方もおられますが、再編していかねばならない裏側にはこうした教員の状況を知っていただきたい、そうした視点からもご理解いただきたいと思っています。	同左	
4	「学校園における働き方改革」に部活動指導とあるが、ニュースで中学校の部活を外部委託すると聞いた。自分の子どもはクラブチームに入っており、全国大会に向けた大阪府予選ではクラブチームの参加が増えており、学校の部活動でなく外部のクラブチームが増えている。 港区でも、部活動がない中学校もあるので、区内にクラブチームを作るなどの取組みについてお聞きしたい。	昨年度（令和4年度）のこども青少年部会でもご説明しましたが、文科省では中学校の部活動の地域移行が検討されています。教育委員会では、文科省から示される具体的な方針を踏まえて、具体的に検討していくこととしていますが、現時点ではそこまで至っておりません。クラブチームについても、こうした方針に則って、部活動の地域移行と一体的に検討する必要があると考えております。	同左	